

転売が社会に与える影響

小池 巧

本論文では各章ごとに取り上げる転売事例からそれぞれ社会に与える影響について述べていくとともに終章で全体をまとめ、転売が社会に与える影響について明らかにしていく。

第 1 章では転売の定義や転売と関係があると予想される推し活についての定義について紐解いた。また、推し活をする年齢別の割合については比較的若い世代に比較的高いことが明らかになった。

第 2 章では新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、マスクやアルコール消毒製品の高額転売が問題となり、規制が行われた。しかし、規制を掻い潜る形で転売が繰り返され、生活必需品の不足や価格高騰が社会不安を助長していると考えられる。2021 年版消費者白書にも「マスクが入手できない」「高額転売に困っている」などの相談が記載されており、転売規制の必要性が示されていることが明らかになった。一方、転売で簡単に金銭を得られる状況が存在する限り、禁止行為を回避しようとする行為が続く現状も指摘される。

第 3 章のチケットの不正転売では、転売目的の購入とやむを得ない事情による転売の区別が難しいことが課題であることが明らかになった。また、正規のチケットリセールサイトの利用を推奨しているが、チケット不正転売禁止法の施行の影響からチケット転売に対する人々の意識を変えた一方で、転売チケットに関する相談が増加したことが明らかになった。さらに、入場リスクや仲介サイトの取引トラブル、公式サイトとの混同などが挙げられている。チケットの購入には慎重な購入が必要であることが重要である。

第 4 章のグッズやゲーム機器の転売に関して、店舗などで購入する際に購入者が転売目的か純粋な需要者かの区別が困難であることが明らかになった。また、人気商品はボットを使った大量購入により、本来ほしい人が入手困難になることが課題であることが明らかになった。さらに、ネットオークションやフリマサイトの普及も転売を助長している。転売対策として、店舗では外箱に購入者名を記入したりした対策が行われている。一方、ゲーム機器の転売増加は半導体不足による品薄も影響していることが明らかになった。

第 5 章ではトレーディングカードゲームの歴史と転売事例を踏まえて、トレーディングカードはコレクションや投資対象としての需要増加により、価格高騰や品薄が問題化している。窃盗事件や不正購入が相次ぎ、本来の楽しみである対戦が困難となりつつあることが明らかになった。特に子供にとって、必要なカードが高価で入手困難なことが、資金格差や友人間のトラブルを生み、平等な楽しみが妨げられている。さらに、新規参入者も高額化や入手難の影響を受け、幅広い年齢層が楽しむという本来の姿が失われつつあると懸念され

る。

本研究から転売は SNS やネットのオークションサイトやフリーマーケットサイトの普及の影響により、誰でも手軽にお金を稼げる手段として普及していることが明らかになった。また、転売に関する犯罪やトラブルの事例から生活費や推し活のために転売していることがあり、理由として物価高の影響も関係していると予想される。また、転売を対策として販売店舗独自の対策やネットのオークションサイトの規制強化が必要だが、購入に関するボットの利用や不正行為など完璧な対策は困難になることが明らかになった。転売は対策が困難であるが、転売によるトラブルを減らし、本来の目的で購入を希望する人に商品が届く社会の実現が求められる。